

研究課題名	関節リウマチ患者の病態と生活習慣に関わる血液代謝産物の探索
研究の意義・目的	本研究は、関節リウマチ(RA)患者さんの疾患活動性や骨密度、筋肉量、体脂肪量などの様々な身体状況と食生活や運動習慣などの生活習慣が、血液中の代謝産物とどのような関連性を示すかを検証するための研究です。研究ではRA患者さんだけではなく、RAではないボランティアの方の血液中の代謝産物の測定も行い、RA患者さんと比較することでRA患者さんに特徴的な血液代謝産物を探索することも目的とします。 本研究によってRA患者さんの身体状況に関わる血液代謝産物を探索した上で、血液代謝産物と関わる生活習慣との関連性を明らかにすることができれば、血液代謝産物の状況に応じた生活習慣の改善により、身体状況を改善させる新たな治療法の開発に繋がる可能性があります。 本研究は大阪公立大学(旧大阪市立大学)が中心となっていく研究です。血液代謝産物の測定は県立広島大学において実施します。
研究を行う期間	研究機関の長の研究実施許可日後～2027年3月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	本研究では大阪公立大学(旧大阪市立大学)で2010年から開始した「関節リウマチ患者の罹患率と死亡率を下げるためのリスク因子のトータルマネジメント(TOMORROW 研究：承認番号1660)」に参加された方のうち、2017年に当院において採血検査を受けられたRA患者さんと非RAのボランティアの方を対象とさせていただきます。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	TOMORROW 研究において2017年の調査でご提供いただいた下記試料および情報を本研究に使用させてください。 試料：【血清】 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、検査データ、食事調査データ】
試料・情報の他機関への提供	この研究では 県立広島大学生物資源科学部へ頂いた試料・情報を提供します。その際は、特定の個人を識別できない形で提供します。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学(旧大阪市立大学)大学院医学研究科高齢者運動器変性疾患制御講座と県立広島大学生物資源科学部で行います。 研究責任者： 大阪公立大学大学院医学研究科高齢者運動器変性疾患制御講座 特任教授 小池達也 県立広島大学生物資源科学部 准教授 馬淵良太
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学医学研究科高齢者運動器変性疾患制御講座 特任教授 小池達也 県立広島大学生物資源科学部 准教授 馬淵良太
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。

連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科高齢者運動器変性疾患制御講座 (担当者氏名) 小池 達也 電話番号 : 06-6646-6010 メールアドレス : tatsuya@omu.ac.jp
-----	---